

第五十二回
帝國議會
貴族院
計理士法案外二件特別委員會議事速記録第三號

昭和二年三月八日(火曜日)午前十時二十
五分開會

○委員長(子爵會我祐邦君) 唯今カラ引續
キ商工會議所法案特別委員會ヲ開キマス、
引續キ質問ヲ許シマス

○森平兵衛君 過般、私ノ質問ニ對シマシ
テ、政府委員ノ答辯ガナカタモノノガアリ
マスノデ、一應御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒ
マスガ、私ノ御尋ヲ致シマシタノハ、此ノ
商工會議所法案事務の法律デアル、是ハ單
行法デアリマシテ、他ノ法規ニ餘リ關係ス
ル所ガ少イノデアリマス、故ニ之ヲ運用
イタシマスルノニモ、商工會議所法ト云フ
此法律ノ下ニ商工會議所ノ機能ヲ發揮セシ
ムル爲ニ運用スルノデアリマスガ、之ヲ修
正ヲ……會議所ノ意見ノ爲ニ之ヲ修正スル
ト云フコトニナリマスレバ、他ノ法規ニハ
是ハ關係ナイモノデアラウト斯ウ考ヘルノ
デアリマスガ、政府ハソレニ付テドウ云フ
御考ヲ御持チニナッテ居マスカ

○政府委員(野村嘉六君) 今ノ御説ハ先日
ノ御質問ノ續キトハ思ヒマスガ、御質問ノ
御趣旨ハ……サウ致シマス、縱シヤ此法律
ニ行政事務ヲ委任スルト云フコトヲ記載シ
テモ、他ノ法律トハ別ニ抵觸セヌト思フ、獨
立シテ行政事務ヲ委任シテ商工會議所トシ
テ執行シ得ベキモノデアリマセヌカ、斯
ウ云フ御質問デアリマスカ

○森平兵衛君 是ハ商事行政ノ一部ヲ之ニ
加ヘル、或ハ諮問事項ヲ之ニ列記スルコト
ハ別問題デアリマス、大體ニ於テ本政府案
ヲ假ニ修正スルト致シマシテモ、他ノ法案
ニハ關係ナイモノデアアル、會議所自身ガ此法

律ノ下ニ會議所ノ機能ヲ發揮サス爲ニ施行
スルモノデアアルカラ、政府ニ於テ會議所ノ
意見ヲ御容レ下サツテモ、他ノ法規ト關係
ナイモノデスカラ、ソレガ至當ト認メルコ
トデアレバ御改正ニナツテモ差支ナイデヤ
ナイカ、斯ウ云フ質問デアリマス、抽象的
ノ質問デアリマス

○政府委員(野村嘉六君) 御意見ノ通りデ
アリマス

○森平兵衛君 ソレデハ具體的ニ御尋ヲ致
シマスガ、本案第八條ノデス、商業部、工
業部ヲ設クルト云フコトニ付キマシテ過日
伊藤男爵カラ御質問ガアリマシテ御答辯ガ
アリマシタガ、其時ニ政府委員ノ御答ハ、
商業部、工業部ト云フモノヲ獨立サシテ、
之ニ政府ガ諮問ヲシタ場合ニ答申ヲサス、
又建議モサス云フコトハ商業會議所ノ機
能ヲ迅速ナラシメ、又ハ機能ヲ發揮スル上
ニ於テ便利ダト云フコトノ爲ニ、斯ノ如キ
條項ヲ今回設ケラレタト云フヤウナ御趣旨
ノ御答ノヤウニ承ツタノデアリマス、會議所
側ノ意見ト致シマシテハ、會議所ハ正副會頭
ノ外ニ常議員ト云フ役員ガアツテ總會ナリ、
其他政府カラ諮問ノアツタ場合ニハ、一ツノ
會社ニ例ヘテ見レバ重役デアルカラ、ソレ
ガ一應目ヲ通シテ總會ノ監督モシ、又決議ヲ
尊重シテ政府ニ對スル答申ヲシテ居ルノデ
アル、然ルニ今回ノ法律ニハ工業部、商業
部ト云フヤウナモノガアツテ、直接ソレガ政
府ニ對シテ答申ヲシ、建議ヲスルト云フコ
トニナリマス、役員會ト若シモ意見ヲ異
ニシタ場合ハ、會議所トシテハ會議所機能
ノ統一ヲ缺クト云フコトニナリハシナイカ

ト云フ點デ反對シテ居ルヤウニ私ハ思フノ
デアリマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテ政府
ガドウ云フ御考ヲ御持チニナッテ居リマス
カ、再應御尋ヲ致シマス

○政府委員(野村嘉六君) 此間伊藤男爵カ
ラノ御質問ト同一趣旨デアリマスガ、御質
問ノ御趣旨ニ依レバ、商業部工業部ト云フ
モノヲ別ケタ結果、却テ統一ヲ缺クヤウナ
虞レハナイカ、斯ウ云フ御趣旨デアアルノデ
アリマスガ、當局デハ必ズ此商業部、工業
部ト云フモノヲ設ケナケレバナラヌト云フ
趣旨デハナイ、其土地ノ狀況、其土地ノ商
業、工業、是等ノ實際ノ事實ヲ能ク見マシ
テ、サウシテ商業ニ於テモ相當ニ發達シ、
工業ニ於テモ相當ニ發達シテ、サウシテソ
レゾレ利害ヲ持ッテ居ルヤウナ場合ニハ其
土地ノ利益ヲ代表スル必要上、商業部、工
業部ヲ置クノデアリマスカラ、從テ其自治
體ノ目的ヲ圓滿ニ發達セシムル爲ニ商業部
工業部ヲ設ケタ方ガ宜シイ、併シテソレニ
反シテ、萬一、其商工會議所所在ノ地ニシ
テサウ云フ必要ハナイ、別ニ商業部ナリ工
業部ナリヲ設ケナクテモ圓滿ニ商工業ノ發
達ノ便利ガ得ラレル、斯ウ云フコトデアリ
マスレバ無論設クル必要ハナイ、今假ニ他
ノ會社ノ事務ヲ見マシテモ、少シク複雑ニ
ナツテ、サウシテ仕事ノ大キイ所ニナリマ
スルト云フト、ソレゾレ其部門ヲ分ケマシ
テ、専門ニ其方ニ力ヲ入レテ、ソレデ事務
ヲ執ッテ行ク、此方ガ仕事ノ上カラ見マシ
テモ能率ヲ上ゲルト云フコトハ顯著ナル事
實デアリマス、ソレデアリマスカラ、普通
會社銀行等ニ於キマシテモ、ソレゾレ其部

ヲ分ケテ、サウシテ其方ノ事務ニ付テ專心
利害ヲ考究スル、既ニ我々ノ考デハ能率ヲ
上ゲ得ルト信ジテ居リマスカラ、從ヒマシ
テ今回ハ矢張り此商業部工業部ニ分ケテ、
サウシテ機能ヲ發揮セシメタ方ガ却テ商工
會議所ノ目的ヲ達スルニ便利デアル、要ス
ルニ、所ニ應ジテノ問題デアリマシテ、併
ナガラ小サイ所ニ於テ餘リ發達セヌ所ニ於
テハ斯ノ如ク商業部、工業部ニドウシテモ
分ケナケレバナラヌト云フコトニナルト、
今森君ノ御質問ノ通りニ統一ニモ困難
デアリマス、又店ノ飾バカリガ大キクテ内
容ガ空漠デアツテハ機能ヲ發揮スルコトガ
出來ヌト云フ結果ニナルト斯ウ思ッテ居ル
ノデアリマス、ソコデ最後ニ衝突シハセヌ
カト云フ御懸念デアリマスガ、私ハ是ハ衝
突セヌト思ヒマス、何故ナラバト申シマス
ト、工業部ノ事ニ付キマシテハ工業部ニ對
スル調査研究ノ便宜ヲ圖ルノデアリマス、
商業部ニ對シマシテハ商業部ニ對シテノ調
査研究ノ便宜ヲ圖ルノデアリマス、サウス
ルト其專門ニ屬スルコトハ如何ニシテモ他
ノ專門ナラザル立場ノ者ヨリハ專門ノ方ノ
人ハ利害ノ研究モ十分デアリ、又機能ノ發
揮モ十分デアル、斯ウ思フノデアリマス、
ソレデアリマスカラシテ其方ノ人ガソレゾ
レ意見ヲ纏メテ、サウシテ工業上ニ關シテ
ハ斯ウ云フ改良、斯ウ云フ指導ヲシタ方ガ
宜シイト云フ建議ナリ或ハ答申ナリ、其他
ノ商工會議所トシテノ實質ヲ爲シマスル以
上ハ必ズ其共鳴サレルモノニナルト、斯ウ
信ズルノデアリマス、尤モ極ク之ヲ細分的

ニ見マスレバ商工會議所ニ相當ナ役員が居リ、議員が居ルノデアリマスカラ、必シモ全部が一致ヲ得ナイコトハ是ハ當然デアリマス、當然デアリマスガ、兎ニモ角ニモ、工業部ヲ設ケ商業部ヲ設ケタ爲ニ、茲ニ統一ヲ缺クヤウナ虞レハナイト存ジマス、却テ是ガ爲ニ機能ヲ發揮シ、又今日ノ商業會議所ニ於テモ、所ニ依ッテハ内規或ハ習慣ト云フモノニ於キマシテ、サウシテ大體ノ部分ヲシテ調査研究シテ居ル所ガアルサウデゴザイマスケレドモ、私ハ統一ヲ缺クモノニアラズ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス

○森平兵衛君 只今ノ政府委員ノ御答辯ニ依レバ此明文ニモアル通り、設ケル場合ニ於テハ云々ト書イテアルノダカラ、其土地ノ狀況ニ依レバ商業部、工業部共ニ設ケルノ必要ハナイ、斯ウ云フ御答辯ノヤウニ承ッタノデアリマス、從來トテモ、政府委員ノ御答辯ノ如ク、各會議所ニ於テ商業部、工業部、理財、交通、貿易ト云フヤウナ各部ヲ設ケテ、是ノ研究ヲシ、又指導シテ居ルヤウナコトガアルノデアリマス、ソレデ唯今政府委員ノ御答辯ニ依レバ、設ケル場合ハダカラ、其土地ニ依ッテ設ケナクテモ宜イト云フコトニナレバ、從來ノ如ク法規ニ斯ノ如キ明文ヲ現ハサナクテモ、其會議所ノ自由ニ御任セニナッテモ私ハ宜カラウト思ヒマス、何故ニ斯ノ如キ商業部、工業部ヲ設ケル場合デアレバ、前二項ノ建議又ハ答申ヲ爲スコトヲ得ト殊更斯ノ如キ明文ヲ法規ノ上ニ設ケル必要ハナイト思フノデアリマス、ソレニ對シテノ御意見ハ如何デゴザイマス

○政府委員(野村嘉六君) 是ハ今日モ矢張り、先ニ私ガ簡單ニ申シテ置キマシタ通り、部ヲ設ケテ居ル所ガ多イ、ヤウニナッテ

居リマス、ソレデアリマスカラシテ之ヲ詰リ今回ハ法律上ノ制度トシテ、サウシテ認メタ譯デアリマス、ト申シマスノハ既ニ部門ヲ分ケタ方ガ宜シイト云フ意味合ニ於テ、實際ノ經驗ニ基イテ、サウシテ既ニソレゾレ部ガ出來テ居ル以上ハ、進ンデ法制上ノ制度トシテ確立セシメタ方ガ却テ明瞭デアリ又疑ガナクテ宜イダラウト思フノデアリマス、必要ニ應ジテハ設ケラレルノデアリマス

○森平兵衛君 是レ以上御尋ネシマスト議論ニ涉リマスノデ、此八條ノ質問ハ是デ打ちリマス、續キマシテ十三條ニ對シテ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、十三條ノ法文ハ「議員ノ定數ハ五十人以上トシ前條第二號ノ議員ノ員數ハ議員定數ノ五分ノ一トス但シ地方ノ狀況ニ依リ其ノ割合ヲ五分ノ一未滿トスルコトヲ妨ケス」前條第二號ト申シマス「地區内ノ重要商工業ヲ代表セシムル爲メ第十九條ノ規定ニ依リ選定シタル議員」云フノデアリマス、之ヲ「五分ノ一トス」ト云フコトヲ限定ナサレマシタ理由、及此十三條ニ付テモウ一箇所御尋ネ致シタイノハ、過日伊藤男爵ヨリ之ヲ六十人以下ニシタラドウカト云フコトニ付テノ政府委員ノ御答辯ハ七十箇所ノ會議所ヲ檢査シテ見ルノニ、議員ノ數ハ三十名以下ガ多數デアアル、五十名ト云フコトハ東京外四箇所ホカナイ、是ガ議員ガ増シタカラト云ウテ必ズ會議所ノ機能ヲ發揮セシメルモノデモナイト思ヒマス、ノミナラズ議員ガ多クナレバ從テ會議所ノ經費モ増加スルダラウ、斯ウ云フ御説明ニ承ッタノデアリマス、會議所ハ此法文ノ第二十二條ニアリマス通りニ、議員ハ名譽職デ少シモ實費辨償ノ報酬ト云フモノハ取ッテ居ラヌノデアリマス、會議所ノ議員ハ十人ヤソコラ増シタ

カラト云ッテ只今ノ會議所ニ於テ經費ガ増スト云フコトハ私ハ無イト思フノデアリマス、ソレデ其點ハ議員ノ定數ノ五分ノ一ト云フ所ハドウ云フ所ノ基礎ヲ以テ御定メニナツタカ、御尋ネ致シマス

○政府委員(吉野信次君) 御答イタシマス、第一ニ議員定數ノ五分ノ一ト致シマシタノハ、五分ノ一ト云フ定數ニ格別ノ理由ハナイノデアリマス、現在ノ特別ノ議員數ハ、全體ノ議員ノ數ノ五分ノ一トナッテ居ルヤウデアリマスガ、特別議員ノ制度ヲ茲ニ廢スルモノデアリマスカラ先ヅ五分ノ一位ノ程度デ業種別ノ議員ノ代表ト致シマシテハ代表セシメタラ宜カラウ、斯ウ云フ位ノ簡單ナ考カラ致シマシテ五分ノ一ト致シマシタ、ソレカラ議員ノ總數ヲ五十名、六十名ノ問題ニ付キマシテハ是ハ前回ニ於キマシテモ申上ダマシタ通り、必シモ五十人ヲ六十人トシタカラト云フテ商業會議所ノ機能ガソレダケ發揮スルニ便宜ナリトモ實ハ私共トシテハ考ヘテ居ラヌト云フダケノコトデゴザイマシテ、唯、現行法ガ五十人ニ既ニナッテ居リマシテ、ソレデ五十人ト云フモノハ最大限ニナッテ居リマシテ、此五十人ノ以内ニ於テソレゾレ會議所ガ議員ノ定數ヲ決メマシテ、有權者ノ比較的多イ所ハ五十人、少イ所ハ三十人、或ハ二十人ト云フ風ニ、實際ノ事情ニ於テ自ラ大都會ニ於テハ多ク、又比較的小サイ都會ニ於キマシテハ是ヨリモ少ク、實際ノ事情ニ於テ其員數ガ決マッテ居ルモノデアリマスカラ、現行法ノ五十人ノ總體ノ定數ト云フモノヲ積極的ニ之ヲ變更スル理由ヲ認メナイ、是ダケノ理由デゴザイマス、積極的ニ之ヲ變ヘルダケノ理由ガナイト云フコトデゴザイマシテ、外ニ別段ニ深イ考ハ有ッテ居ラヌノデゴザイマス、實際ノ是マデノ經驗カラ

申シマシテモ五十人デアアルガ爲ニ商業會議所ト云フモノノ機能ヲ發揮スルニ不便ナリト云フコトヲ實ハ考ヘテ居ラヌノデアリマス

○森平兵衛君 此十三條ニ關聯イタシマシテ、此第十九條ニ此「重要商工業ノ種目ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム」トシテアルノデアリマス、ソレハドウセ此選舉規則ハ何レ命令ヲ以テ御定メニナルノデアリマスルガ、政府ノ御方針トシマシテ此十二條ノ第二號ニ依リ選出議員ト云フモノハ、矢張り其重要物產同業組合ト云フモノカラ選出ヲセシメルト云フ御積リデアリマスルカ、或ハ會議所ガ從來特別議員ヲ選舉スルヤウニ、會議所議員ガ、重要物產ノ項目ガ定款ニ決メテアリマスレバ、假ニ生絲トカ、綿絲トカニ云フモノガ決ッテ居リマスレバ、會議所員自身ガ其後ノ五分ノ一ノ議員ヲ選出スルモノデアリマス、其點ハ政府ニ於テ御腹案ガアレバ此際承ッテ置キタイト思フノデアリマス

○政府委員(吉野信次君) 御答イタシマス、此十九條ノ第二項ノ重要商工業ノ種目ノ定メ方ハ只今御尋ノ其後段デアリマシテ、會議所ニ於テ之ヲ決メルノデアリマス、政府ト致シマシテハ地方ノ事情ニ依リマシテ如何ナル種類ノ商工業ガ其地方ニ於ケル重要ナル商工業デアアルカト云フコトハ一律ニ定メ難イノデアリマス、或地方ニ於テハ生絲工業ノ盛ナル所モゴザイマセウシ、或地方ニ於キマシテハサウデナイ、工業ガ盛シナ場合モゴザイマセウカラ、ソレヲ抽象的ニ全國ニ適用シ得ルヤウナ重要工業ノ種目ト云フモノハ中央ニ於テ定メルコトハ出來マセヌ、要スルニ此規定ノ趣旨ハ其地方ニ於ケル重要ナル商工業ト云フモノガ此商工會議所ニ反映スルヤウニト云フ、映ッテ

來ルヤウニ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマシ
テ、如何ナルモノヲ以テ其地方ノ重要ナル
商工業ト見ルカト云フコトハ全ク之ヲ商工
會議所ノ御決定ニ委セル、斯ウ云フ趣旨デ
ゴザイマス

○森平兵衛君 御趣旨ハ能ク分リマシタ
ガ、之ヲ大阪ニ例ヲ引イテ申上ゲマスル
ト、大阪デハ重要物産組合ニ依テ制定
ニナッテ居リマスル組合ガ八十バカリアル
ノデアリマス、其中假ニ大阪ハ五十人ノ議
員トシマスルト、五分ノ一ノ十人ヲ其中デ
決メルト云フコトハ容易ナコトデナイ、綿
絲モ重要デアレバ、砂糖モ重要ダト云フコ
トニナリマス、會議所自身ガ此五分ノ一
ノ業別ヲ選定スルト云フコトハ、實地ニ於
テ非常ナ困難ニ私ハナッテ來ナイカト思フ
ノデアリマス、ソレニ對スル政府ハ何等カ
其土地ノ狀況ニ依テ命令ヲ以テ定メテ貫
タラドウカト云フヤウナ意見モアルノデア
リマス、之ニ付テノ政府ノ御意見ト、而シ
テモウ一項ハ此五分ノ一ノ議員ヲ選出スル
方法ハ、是モ會議所ニ一任ヲ爲サル御積リ
デアリマス、或ハ矢張り此會議所法ノ選
舉規則ヲ、命令ヲ以テ御定メニナル時分ニ
此種ノ議員ノ選出法モ法規ヲ以テ御定メニ
ナルノデアリマス、共ニ承リタイト思ヒ
マス

ルト云フコトハ餘程困難ナル問題ガ生ズル
ダラウト思フノデアリマス、併シ私共ノ考
ヘテ居リマスルコトハ必シモ重要物産同業
組合ト云フモノニコダハル考ハ有ッテ居リ
マセヌ、是ハ亦考ヘヤウニ依ッテハ重要物
産同業組合ト云フモノハ御承知ノ通り、例
ヘテ申シマスルナラバ、同ジ纖維工業ニ付
キマシテモ紡績ノモノハゴザイマセヌケレ
ドモ、織物ニ致シマシテ、綿織物ノ組合モ
アレバ、又之ヲ染メル方ノ捺染ヲスルヤウ
ナ組合モアレバ、染織ノ方モアレバ、ソレ
カラ又莫大小ノ方ノ組合モアル、ト云フヤ
ウナ工合ニ同ジ綿織物工業ト云フコトニ付
キマシテモ所謂重要物産同業組合ト云フモ
ノハ難多ノ組合ニ分レマシテ、是等ノモノ
ガ所謂八十ト云フ多數ノ數字ヲ示シテ居ル
ノデアリマス、商工會議所ノ構成ヲ見ル點
カラ申シマスルナラバ、是等ノ多數ノ組合
ニハ分レテ居リマスル業種ヲ一ツノ業種ト
見ルコトモ又容易デアラウト思フノデア
リマス、綿織物工業ナリ、或ハモット大キ
イ分類ヲ申シマスルナラバ、纖維工業ト云
フヤウナ其分類モ付カウカト思フノデアリ
マス、ソレハ其地方ノ事情ニ依リマシテ、
色々決メルノデゴザイマス、其決メ方
ハ非常ニ困難デアラウト云フコトハ、御説
ス、如何ナル標準ヲ以テ之ヲ決メルカト云
フコトニ付キマシテハ、地方ノ事情モゴザ
イマシテ、一律ニ申上ゲルコトハ出來マセ
ヌケレドモ、先ヅ其地方カラ見マシテ、其
生産高ナリ取扱高ナリ、其地方ニ於テ、サ
ウ云フモノモ其金額ガ比較的大キイモノ、
方カラ順序ニ見ル、生産高ノ金額ノミナラ
ズ、又之ニ從事シテ居ル從業者ノ數字ト云
フヤウナコトモ亦有力ナル一ツノ判斷材料
デアラウト思ヒマス、サウ云フヤウナコ

トハ非常ニ困難デアルト云フコトハ私共十
分ニ承知シテ居リマス、承知シテ居リマス
ルガ、是ハ併ナガラ毎回ヤルノデハゴザイ
マセヌノデ、年ニ依ッテ多少ハ變更ヲ加ヘ
ナケレバナラヌノデアリマス、ルガ兎ニ角、
其最初ノ總選舉ヲヤル時二十分練レバ宜シ
イノデアリマシテ、サウ云フ場合ニハ及バ
ズナガラ係官ノ方ニ於キマシテモ十分御協
議ヲ致シマシテ、手合ヲ致シマシテ、遺憾
ナキコトヲ期スル積リデゴザイマス、御尋
ノ通り非常ニ困難デアルト云フコトハ十分
政府ニ於テモ認メテ居ル次第デゴザイマ
ス

○森平兵衛君 選舉規則ハ矢張り會議所デ
ハ定款ヲ以テ之ヲ定メテ差支ナイノデアリ
マスルカ、諄イヤウデスガ、モウ一應御尋
ネ致シマス

○政府委員(吉野信次君) 其通りデゴザイ
マス

○森平兵衛君 續イテ御尋ネ致シマスガ、
其第十四條ノ第二號ニ「商業會議所ノ地區
内ニ於テ引續キ二年以上本店、支店其ノ他
ノ營業場ヲ有スルコト」ト云フコトガアリ
マスルガ、私ハ從來ノヲ、チヨット記憶イタ
シマセヌガ、今日普選ヲ布カレテ居リマス
ル時勢デアリマスルノデ、之ヲ二年ト云フ
ノヲ一年ニ短縮シテ貫ヒタイト云フ議論
ガアリマスルガ、之ニ付テ政府ノ御所見ハ
ドウ云フモノデアルカ、ソレトモウ一ツ、
此十四條ノ中デ現行法ニ於キマスルト、此
商法第二百六十四條ノ七號ト申シマス、
客ノ來集ヲ目的トスル所ノ營業者ニハ無資
格ニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ改正
法規ニ依リマスルト、營業收益稅ヲ納メレ
バ自己ノ名ヲ以テ、商工業ヲ爲シテ營業
收益稅ヲ納メレバ總テ商工會議所ノ選舉權
被選舉權ヲ得ルト云フコトニナッテ居リマ

ス、純真ノ商工業ニ非ザル者ニ向ケテ此
會議所ノ經費ヲ賦課サヘスレバ、ソレニ對
シテモ選舉權被選舉權ガアルヤウニ思ヒマ
スガ、之ニ付テ政局ハ何故ニ此商業會議
所、商工業ニ直接ノ關係ノナイ者ニ對シテ
此收益稅ヲ賦課スルト云フ、營業收益稅
ノ賦課ヲ御認メニナッテ居ルカ、此二點ヲ御
尋ネ致シマス

○政府委員(野村嘉士君) 第一ノ御質問ハ
此二箇年以上ト規定シテアルノヲ一年以
上、斯ノ如ク改正スルノハ當然デヤナイカ
ト斯ウ云フ御質疑ガアルノデアリマス、是
ハ私ハ此商工業ノ職務ニ鑑ミマシテモ、矢
張り二箇年以上ガ適當デアルト斯ウ考ヘマ
シテ、兎ニモ角ニモ、商工業者トシテ利害ノ
關係ヲ濃厚ナラシメテ、サウシテソレニ對
シテ改善方法ヲ講ズルト云フヤウナル意思
ノ生ズルノハ、唯、渡リ鳥ノヤウニ、其處
ヘ來テサウシテチヨット居テ直グニ又他ニ
移ル、丁度、此興行師ガソレゾレ世界中ヲ
股ニシテ歩イテ、サウシテ商賣ヲシテ居ル
ト、斯ウ云フ風ナモノデアリマシタナラ
バ、其土地ニ於ケル習慣トカ、又ハ其他ノ
狀態ニ鑑ミテ發展改良ト云フ機會モナシ、
餘地モナシ、現ニ私ハナイト思ッテ居リマ
ス、ドウシテモ商業者工業者ノ立場ヨリ改
善發展ヲ圖ルノデアリマスカラシテ、相當
ノ期間、其土地ニ於テ商業ヲ爲シ工業ヲ爲
シテ、サウシテ土地ノ人情風俗有ラユルモ
ノニ關係ヲ持ッテ相當ノ月日ヲ以チマシテ、
其處ニ於テ發スル利權、其處ニ於テ得ル權
利ガ最も正確デ、サウシテ有效デアラウト
斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ル、唯今普選ノ如キ、
唯其人ハ世ニ居ル以上ハ當然、所謂其人ニ
屬スル權能ヲ發揮シテ選舉スルト云フヤウ
ナ場合ノモノトハ多少性質ヲ異ニシテ居リ
ハセヌカト斯ウ考ヘルノデアリマス、即チ

衆議院選舉法ノ如キ、其人ガ人間トシテ當然參政權ヲ有スルモノナリト云フ、人權ノ自然ノ發露カラ出テ來タ意味デナクシテ、商業ナリ工業ノ特殊ノ利害關係カラ考究サル、コトデアリマスカラ、私ハ相當ノ歲月ノ間、矢張り其土地ニ定著シテ業務ニ從事シテ利害ヲ講究シタルノガ當然デアラウト思ヒマス、又現在ニ於キマシテモ、市會議員ノ如キハ、確カ二箇年以上居ラヌト云フト選舉權ガナイヤウニ考ヘテ居リマス、之ヲ唯今ノ市會議員ハ其市ト云フ自治體ニ直面シテ、自治體ノ利害關係ヲ講究スルノハ市民トシテ二箇年以上モ居ナレバ十分ナル能力ヲ發揮スルコトハ出來ヌヤウナコトモ一ツノ理由デアラウト思ヒマス、ソレ以上ニ商業者、工業者トシテノ立場ヨリ設クル一種ノ機關デアリマスルカラシテ、私ハ二箇年以上ト云フノハ適當デアルト斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ノ御質問ハ例ノ料理屋トカ、ソレカラ貸座敷ヲ入レタノハ不都合デアル、ドウ云フ譯デアアルカ、ソレハ一體純粹ノ工業デモナケレバ、商業デモナイ、斯ウ云フ御質問デアリマシタガ、兎ニモ角ニモ、商法ハ商行爲ト認メル、デ我々人民モ此全般ニ則ルベキ根本法ニ於テハ商行爲トナッテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、其商行爲ノ種別ガ、或ハドウ云フ商行爲ヲ爲シテ居ルカト云フコトハ人々ノ思想ト感情ニ依ッテ、或ハ上品ナル商行爲ヲヤッテ居ルモノトモ見ラレルデモアリマセウシ、又ハ上品ナラザルモノト認メルモノモアリマス、併ナガラ是ハ要スルニ私ハ感情ナリト斯ウ思フノデアリマス、商法ニ於テ既ニ商行爲トシテ、サウシテ法律ニ認メテ居ル以上ハ、原則カラ云ウタナラバ、一體、此商業會議所法ヲ拵ヘル時ニ當然ハ八レテ宜シイモノデアッ

タラウト私ハ斯ウ思フ、所ガ其時分ノ商業會議所ヲ拵ヘル時分ノ立案者ノ觀念デハ、兎モ角、料理屋トカ、ソレカラ又ハ旅館トカト云フヤウナモノハ面白クナイト云フ感情ニ支配サレテ、サウシテ入レナカッタモノデアラウ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ルノデス、申ス迄モアリマセヌ、此旅館ノ如キモ數年前ニ之ヲ加入シテ入レルコトニ致シタヤウナ次第デアアルノデアリマス、料理店、旅館、貸座敷トカ云フヤウナモノヲ入レナカッタト云フノハ其觀念ニ基イタモノデアラウト斯ウ思フノデアリマス、サウ致シマス以上ハ、今日既ニ商法ノ規定ニ於テ商行爲ト認メル、又總テノ法規ニ於テ、サウシテ選舉權被選舉權ヲ有シテ居ル時代ニ於テ、單リ斯様ナ商工業者ノミニ選舉權モ與ヘズ、又總テノ權利ヲ與ヘナイト云フコトハ殆ド特例中ノ特例ニナルコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ是ハ與ヘルノハ原則デアアルカラシテ、與ヘルガ私ハ當然ナリト、斯ウ思フノデ、此事ハ國民ノ殆ド輿論ト云フテモ宜イト思ヒマス、現ニ本年ハ出マセヌガ、コ、數年間衆議院ニ於キマシテ、此請願ガ議會開會毎ニ……料理屋並ニ貸座敷業者ニ商業會議所ノ議員選舉ノ權利ヲ得セシメヨト云フ請願ガ出テ居リマス、此請願ハナカ……五通ヤ十通デアリマセヌ、昨年ノ如キハ確カ五十通モ出テ居ッタヤウニ思フテ居リマス、而モソレガ全會一致デ全部採擇サレテ居ルヤウナ次第デアリマス、サウ致シマススト云フト、國民ノ輿論カラ見マシテモ、今日デハ貸座敷並ニ料理屋等ニ選舉權ヲ與ヘルノハ當然デアラウト、斯ウ云フ考カラ今度ノ改正案ニハ例外ヲ設ケナカッタ次第デアアルノデアリマス、ソレカラ貸座敷ハ是ハ營業收益稅法デ收益稅ヲ課シマセヌカラシテ、會議所ノ議員ノ

選舉權ガ無イノデアリマス、サウ云フ次第デアリマシテ、商法ノ商行爲ト云フ規定ニ則ッテアレフ全部入レタモノナリト御承知ヲ願ヒタイ
○委員長(子爵會我祐邦君) チョット一ツ伺ヒタイノデスガ、唯今ノ御説明デ、宿屋、料理屋、貸座敷ノコトヲ御説明ニナリマシタガ、宿屋ハ暫ク置キマスガ、貸座敷ノ如キモノ、或ハ待合ノ如キモノハ、政府ハ將來改善發達ヲ圖ル目的ナンデセウカ、如何トナレバ第一條ニ「商工業ノ改善發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス」トアルケレドモ、今ノ御説明ニ依ルト、矢張り遊廓ノ如キモノモ、政府ハ改善發達ノ目的ノ中ニ入レテ御居デニナルノデアリマセウカ、サウ云フ考ハナイノデセウカ、第一條ノ定義ト矛盾スルコトニナリヤシナイカト思ヒマス
○政府委員(野村嘉六君) 先程申上ゲマシタガ、料理屋ト待合デケデアリマシテ、貸座敷ノ方ハ入ラヌノデアリマス
○委員長(子爵會我祐邦君) 入リマセヌカ、先程ノ御説明ハ間違ッテ居リマスネ
○政府委員(野村嘉六君) 貸座敷ノ方ダケ取りマシテ……
○森平兵衛君 今ノ御答デ待合ハ入ルト云フコトデアリマスガ、矢張り待合ハ他ノ商工業者トドウ云フ關係ヲ有ツノデアリマスガ、貸座敷ハナイト思ヒマスガ、待合ハ入ッテ居ッタカト思ヒマス……
○政府委員(吉野信次君) 誠ニ恐入リマシタ御質問デアリマス、段々客ヲ目的トスルモノノ商法ヲ段々研究シテ見マスレバ、宿屋、料理店、酒場、待合、貸座敷、劇場、寄席ト云フヤウナ風ニ、マアチョット想像ガ出來マスノデス、ソレデ旅館ニ付キマシテハ御承知ノ通り既ニ法律デ入リマシテ……ソレカラ貸座敷トカ劇場、寄席

ノ方ハ、是ハ營業收益稅ノ方ノ關係デ、營業收益稅ヲ課シテ居ラヌノデアリマス、外ノ稅ヲ取ッテ居リマス、故ニ此法律ノ營業收益稅ヲ納メテト云フ資格ニ該當イタシマセヌ故ニ、是ハ當然選舉權ガナイノデアリマス、サウスルト殘ル所ハ料理店ト待合ト云フ問題ニナッタノデアリマス、料理店ハ是ハ正當ナル營業デアアルコトハ勿論デアラウト思ヒマスガ、サテ待合ト料理店ノ區別ハ實際問題ニナリマス、マア如何ハシイ……此席デ申上ゲルノモ甚ダ何デゴザイマスガ、殆ド其區別ノ付カヌヤウナ待合モアルノデゴザイマス、ソコデマア假リデス、サウ云フ細カイ議論ヲ致シマシテ、法律ヲ編ム時ニ殊更ニデスネ、目ノ敵ノヤウニ待合デケテ除外スルト云フ明文ヲ置ク、ソレダケノ實ハ勇氣ヲ私共持合セナカッタノデアリマシテ、格別ナ理由ハナイノデアリマス、唯ソレダケノ點デ、法文デ以テ表ハスノモ如何カト思ヒマシテ……待合ト云フモノハ玉石混淆デスケレドモ、先ヅ其點ハ目ヲ瞑ッテアラウト、斯ウ云フ積リデ立法イタシマシタ
○委員長(子爵會我祐邦君) 私モウ一ツ承ッテ見タイノデスガ、此規則ヲ見マス、今度ハ商業會議所ガ商工會議所ニナリマシテ、唯今、森君ノ御質問ニナリマシタ如ク、商工會議所ニ各、部ヲ置クコトヲ得、而シテ其置カレタ部ガ互ニ或場合ニ於テ諮問ニ對シ答申スル、或ハ意見ヲ述ベルコトヲ得ルト云フノデアリマス、商工マデ御入レニナッテ居ルガ、農トカ漁トカ云フモノハ其意味カラ行ケバ入レルベキモノデハナイデセウカ、農トカ漁業トカ云フヤウナモノハ、此原則ヲ推シテ行キマスルト、商工ノ中ニ矢張り農トカ漁トカ云フヤウナモノマデ網羅サレルト云フ御考ハナカッタノデア

リマスカ

○政府委員(吉野信次君) 實ハ商業會議所

ト現行法ハナッテ居リマスモノデスカラ、農
トカ何トカ云フ原始産業ノ方ハ考ヘテ居
リマセヌ、御承知ノ通り既ニ中央官廳ガ商工
省ト農林省トニ分レテ居リマシテ、原始産業
ハ農林省ノ方ノ關係デ、餘程行政上複雑ニ
ナッテ居リマス、但シ土地會社ノヤウナモ
ノハ、例ヘバ其開墾ヲスル會社デアルト云
フヤウナモノハ、ヤッテ居ル仕事ハ農業デ
アルガ、現在ハ商業會議所ノ方ニアリマシ
テ、サウ云フ風ナモノハ資格ハナイノデア
リマスガ、今度營業收益稅ノ關係デサウ
云フモノモ、營業收益稅ヲ課セラレルコト
ニナリマシタノデ、サウ致シマス今度ノ
商工會議所ニ於キマシテハ、現在ノ商業會
議所法上デハマルデ意味ノナカッタ所ノ、サ
ウ云フヤウナ農業會社ノヤウナモノガサウ
云フ關係デ今度新タニ入ッテ來マス、左様
ニ御承知ヲ願ヒマス

ニ御承知ヲ願ヒマス

○委員長(子爵會我祐邦君) モウ一ツ伺ヒ

マスガ、原則カラ申シマスルト、農モ入リ、
漁モ入ルト云フヤウナ譯デアリマスルガ、
色々ノ關係デ暫ク商工ノ方ヲ御入レニナッ
タノデ、唯今ノ御説明ハ分リマシタガ、モ
ウ一ツ承リタイノハ、此規則ヲ見マスルト、
商業會議所……商工會議所ト云フモノヲ各
地方ニ幾ラデモ作ルコトガ出來ルヤウデア
リマス、此條件ヲ滿タスト云フト……是ハ
ドンナモノデアラウカ、私ガ疑ヲ持ッテ居
ルノハ、此許可ト云フモノデ……無暗ニ出
來ルト云フコトニナルト云フト、地方ノカ
ノ乏シイニモ拘ラズ、サウ云フモノヲ作
ル、丁度田舎ノ町會議員トカ村會議員トカ
名札ノ上ニ書キタガルヤウニ、直グ肩書ニ
商工會議所ト云フコトヲ書キタイヤウナ、詰
リ名譽心ガ働イテ、無暗ニ地方ニ作ッテ、其

モノノ數ガ殖エテ來ルト云フコトニ付テ
ハ、ソレハ何ト認メラレマスカ、ソレカラ
モウ一ツハ寧ロ此商工會議所ノ如キモノ
ハ、相當ノ權威ナカラザルベカラザルモノ
デアアルノデアアルカラ、斯ウ云フモノハ或ハ
人口ダトカ、或ハ土地ノ資源ノ總高トカ云
フモノヲ限ッテ、ソコニ制限ヲ置カレルト
云フコトハ考ヘテ居ラヌモノデアアルヤ否
ヤ、此二ツヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(野村嘉六君) 今ノ御質問ハ御

尤デアリマシテ、商工會議所ヲ、希望スル
ニ從ッテ許シマス云フト、際限ガナイコ
トニナル、サウ致シマス云フト御説ノ通
リ肩書ヲ欲シイ人ガ是等ノ方ノ運動ヲシ
テ、サウシテ甚ダ弊害ヲ來スヤウナ虞レガ
アル、ソレデアリマススカラ商工會議所ヲ設
立イタシマスニハ、相當ナル矢張り條件ヲ
要セシムル考デアアルノデアリマス、即チ戶
數ニ於キマシテモ、ソレカラ又人口ニ於キ
マシテモ、商業上ノ此發展ノ程度ニ於キマ
シテモ、ソレゾレ相當ナル程度ニ達セナケ
レバ許サヌ考デアリマス、餘程、嚴重ニヤ
ル考デアリマス、現今日ノ商業會議所法
ノ實行サレテ居ル場合デモデス、成程、各
地方カラ商業會議所設立ノ願ガ澤山出テ居
リマス、出テ居リマスケレドモ、餘程調べ
ナケレバ許サヌデアリマシテ、總テノ條
件ニ適合……即チ條件ト申シマシテモ謂ハ
バ内定ノヤウナモノニ適合スル程度ニ達シ
ナケレバ許サヌ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ル
ノデアリマス、然ラバドレ程ノ戶數デアッ
テ、ドレ程ノ人口デアッテ、ドレ程ノ商業ノ
取引ガアルカト云フコトニナリマシタナ
ラバ、更ニ御答ヲ申上ゲテモ宜シイノデア
リマス、大體ニ於キマシテノ目安ハアルノ
デアリマス、ソレカラ此際ニ先キ申シマシ
タ中デ、稍、明瞭ニシテ置キタイ點ガアル

ノデアリマス、私ノ答辯中ノ關係ニ於キマ
シテ……ソレハ森君カラノ御質問中ニアリ
マシタガ、營業收益稅ガ原則ニナッテ居ル
ノデアリマシテ、商法ノ商行爲ノ中ニハ客
ノ來集ヲ目的トスルト云フノデアリマス
カラ、劇場モ這入ルノデアリマスガ、又女
郎屋……貸座敷モ這入ルト思ヒマスガ、併
シ營業收益稅ヲ納メヌト云フモノハイカヌ
ト云フコトニナッテ居ル、イカヌト云フ規
定ニ定メテアルノデアリマシテ、從テ此ノ
方カラ見マス劇場、藝者屋、女郎屋、是
ハ營業收益稅ヲ課シマセヌカラシテハ這
入ラヌコトニナルノデアリマス、即チ商法ノ
商行爲ノ規定トハコ、ハ相違シテ居ル譯デ
アリマス、ソレカラ新タニ選舉權ヲ得ルモノ
ハ、料理店ト待合ト貸座敷ヲ得ルモノ……
席貸ヲ得ルモノ、是ハ今度ノ改正法案ニ於
テ權利ヲ得ル、斯ノ如クナル次第デアリマ
ス、是ハ序ニ申上ゲテ置キマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 唯今ノ御説明

デ能ク分リマシタガ、此法文ヲ讀ンデ見マ
スト、是ノ上ニ商工會議所ヲ拵ヘマス所ノ
條件ノ定義ト云フモノハ歌ハレテナイヤウ
ニ思ヒマス、唯今内定ノ如キ意味ニ於テ或
標準ガアル、ソレハ戶數、人口、或ハ商業
發展ノ狀況等ヲ調べテヤル、ソレガ内規ノ
如キ意味ニ於テ、其内規ニ合フカドウカラ
調べテ後デナケレバ許サヌト仰セラレマシ
タガ、私ガ先キモ質問イタシマシタヤウニ、
此人口トカ或ハ産業ノ發展ノ程度トカ云フ
ヤウナコトハ、コ、ニ總テ歌ッテ置カレタ
方ガ内規ニシテ置イテ或情實ノ下ニ行ハレ
ハセヌカト云フヤウナ疑ヲ持タセルコトナ
シニ行ハレテ、公明正大ニ行ハレルト云フ
感ゾヲ與ヘルヤウニナリハセヌカト思ヒマ
スガ、其點ハ如何御考ヘデアリマスカ
○政府委員(野村嘉六君) 私ハ、唯今委員

長ノ御質問ニ對シマシテ抽象的ニ申上ゲ置
キマシタガ、尙ホ抽象的ニ答辯イタシテ置
キマスガ、第一ニハ會議所設立ノ要否デア
リマス、ト申シマスルノハ、此會議所マデ
設立シテ商工業ヲ發達サセナケレバナラヌ
コトノ必要ナ地域デアアルカドウカト云フコ
トヲ一ツノ目安ト致シ、ソレカラ又更ニ會
議所ヲ維持スルニハ相當ノ金ガ要ルノデ
ス、ソレデ拵ヘマシテモ果シテ其維持ガ出
來ルカドウデアアルカ、相當ノ費用ノ要ル話
デアリマスルカラシテ、是等ヲ矢張り標準ニ
致シマシテ、サウシテ許可スルカセナイカ
ト云フコトヲ決メルノデアリマス、而シテ
今ノ御質問ハ、ソレナラバ其要件ヲ此法律ニ
書イテ置イタナラバドウデアアルカト云フ御
質問デアリマシタガ、御承知ノ通りニ、其
土地ニ應ジテ考慮セナケレバナラヌ問題デ
アルノデアリマシテ、東京ト又貧弱ナ田舎
トハ違フト同様ニ、而シテ東京ノヤウナ繁
盛ノ所ニモ商工會議所ハ必要、又田舎ノ貧
弱ナル所デモデス、或ハ商工會議所ヲ造ル
必要ノアル場所ガアルカモ知レマセヌノデ
ス、デ是等ハ其土地ノ隆盛、其土地ノ總テ
ノ狀態ニ應ジテヤラナケレバナラヌデア
リマスカラシテ、豫メ一定不變ノ法律ニ其
旨ヲ記載スルト云フコトハ如何デアラウカ
ト、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス

○森平兵衛君 此際、モ一ツ御尋ネシテ置

キタイノハ、貴族院ノ方ヘ向ケテ年々此商
工會法ト云フモノヲ制定シテ呉レト云フ請
願ガ出テ居ル、ソレデ是ハ、私ハ屋上屋ヲ
架スヤウナモノデアッテ、今委員長ノ御尋ノ
ヤウニ、既ニ商業會議所ト云フモノガ隨分
貧弱ナ……ト云フト語弊ガアリマスルガ、
ソレダケノ財力ナリ又勢力ナリヲ有シテ居
ラヌヤウナ土地ニモ今日ハ既ニ出來テ居ル
ノデアリマス、此以上ニ尙ホ商工會ト云フ

ヤウナモノヲ設ケテ、同業組合ハアル、輸出組合ガアル、輸出工業組合ガアル、商業會議所ガアル、其上ニ商工會法ト云フモノヲ設ケテヤルト云フコトハ、私デハ必要ハナイト思ヒマスガ、年々是等ノコトガ執拗ク貴族院ニ請願ガ出テ居ルノデアリマス、此機會ニ於テ政府ハ之ニ對シテドウ云フ御意見ヲ持テ御居デニナルカ、序ナガラ御尋フ致シマス

○政府委員(野村嘉六君) 是モ矢張り現在ニ起テ居ル問題デアリマシテ、御尤ノ御質問デアリマス、地方ニ於キマシテ、商工會法制定ノ必要ヲ認メマシテ、随分ヤレ居ル地方ガアルノデス、從テ取締上又商工業助長ノ意味合カラ、所ニ依ッテハ府縣令ヲ以テ其標準ベキ法則ヲ定メテ居ル所モアリマス、現ニ北海道、埼玉、群馬、岐阜、鳥取、島根、福岡、鹿児島、是等ノ道府縣ニ於キマシテハ商工會規則ヲ發布シテ、サウシテソレゾレ則ルベキモノガ定メテアルノデアリマス、ソコデ此地方商工會法ヲ設ケテ貰ヒタイト云フ請願ハ、貴族院ニモアリマス、又衆議院ニモ出テ居ルノデアリマシテ、而モ是ガ年々此頃ハ出テ居リマス、出テ居リマスガ、當局ト致シマシテハ、先ヅ此商工會法所法案ガ改正サレテ實施サレマス以上ハ、大體ニ於テ商工業者ニ對スル其意思ヲ表示サル、場合ニハ不足ハナイデアラウ、先ヅ商工會會議所ヲ以テ其意思ヲ表示サレタナラバ、ソレデ宜シイ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ商工會會議所ノ無イ場所モ澤山アリマス、ソレカラ又商工會ト云フノハ極ク小サイノデアリマシテ、ソレナラバ斯ウ云フ場所ニ對シマシテハドウデアルカ、斯ウ申シマスレバ、是ハ今申上デマシタ通りニ、縣ニ依ッテソレゾレ規則ヲ發布シテ差支ナイヤウニナッテ居ル所

モアリマス、其他ニ於キマシテハマダ色々研究シテ居リマスケレドモ、併ナガラ今茲ニ商工會規則ナルモノヲ、法律ヲ以テサウシテ是ガ準則ヲ定メルト云フ程度ニハ達シテ居リマセヌノデアリマス、全然ソレナラバ不必要カト申シマスレバ、兎ニ角、小サイ土地ニ於キマシテハ現在必要トシテ商工會ヲヤッテ居ル所ガアルノデアリマスカラ、不必要トハ思ヒマセヌガ、商工會會議所法案ガ通過シテ實施サレ、又地方ニ依ッテソレゾレ取締ヲ爲シテ居ル以上ハ、茲ニ一般ノ商工會法ヲ設ケル必要ノ時期ニ達シテナイ、或ハ其時期ニ達スルコトガアルカモ知レマセヌガ、今日ノ程度ニ於テハ其必要ヲ認メテ居ラヌ、斯ウ申上デテ置キマス

○森平兵衛君 只今政府委員ノ御説明ノ中ニ岐阜群馬ト云フヤウナコトモチヨット言葉ガアリマシタガ、商工會ヲ設立シテ居ルト云フコトデアリマスガ、岐阜アタリデハ既ニ商業會議所モ設立ニナッテ居ルト思フノデアリマス、ソレデ地方ノ狀況ニ依ッテ必ズ商工會ト云フモノガ必要デアルト云フコトハ斷言ハ出来マセヌガ、隨分地方ニ依リマスルト、人ニ依ッテ會ヲ設ケルト云フヤウナ弊ガ隨分アルノデアリマス、先刻申上デマシタ通り、商工省ノ御監督ニナッテ居ル以外ニ、又準則組合ト云フモノガアリ、斯クノ如ク何々組合商工會或ハ地方ニ依レバ輸出協會トカ申シマシテ、是ハ私設團體デアリマスガ、隨分會ガ多イノデアリマス、ソレデ會ト云フモノハ、ソレニ伴ッテ經費ト云フモノガ附イテ廻ルノデアリマス、私ハ斯ノ如キモノガ幾ツモ存在スルト云フコトガ必ズ商工業ノ發達ニ資スルト云フコトデモナカラウカト思フノデアリマス、ノミナリマセズ、先刻御話ノ岐阜トカ群馬トカ云フモノハ既ニ商業會議所ガ設立

サレテ居ル上ニ商工會ヲ何ノ爲ニ必要ガアツテ設ケテ居ルカ、又各府縣ニ於テ商工會ヲ設立スル上ニ於テ地方長官ガ之ニ對シテ縣令トカ指令トカヲ發布シテ居ルト云フコトハドウ云フ狀態デアアルノデアリマス、今日コ、デ具體的ノ御答辯ガ得ラレマセナシタナラバ一ツ御調ベ願ッテ報告ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○政府委員(野村嘉六君) 細カイ點ハ別ト致シマシテ御説ノ通りニ商工會ハ隨分アルノデアリマシテ、全國デ總數ガ約一千以上アルノデアリマス、商工會ト云フモノハハ主モニ、發達ノ原因ハ色々アリマセウガ、農會ノ方ハ御承知ノ通りニ、村農會トカ郡農會トカニテ一村一村ニ農會ガアル、商工會ナルモノハ別ニ一村一村ニハナイノデアリマス、サウ云フ所モ幾ラカ慮ッテ、サウシテ地方ニ於テ農會ガアツテ農業ノ改良トカ發達トカヲ圖ッテ居ルノダカラシテ、商業ノ場所ニ於テハ商工會ガ商工ノ發達改良ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ、對照的ノ意味カラモ斯ク數ガ殖エタノデモアリマセウシ、又本當ノ必要ニ迫ッテ拵ヘタ所モアリマセウシ、又商業會議所ハサウ一縣ニ幾ツモナイノデアリマスガ、商工會ハ本當ニモウ郡、少シ大キナ村デサヘモ拵ヘテ居ル所モアルノデアリマス、色々アリマセウガ、兎ニ角、數ニ於テハ一千以上モアルノデアリマス

○森平兵衛君 ソレデハ矢張り十四條ノ中ノ所謂人頭稅ガ今回ノ法案ニハ削除ニナッテ居リマスガ、之ニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマスガ、過日、伊藤男爵カラ一應ノ御尋ガアリマシタ、其時ノ御答辯ニ依リマス、從來之ヲ認メテ居ッタノハ、即チ選舉權ヲ二重ニ認メテ居ッタト云フ點モ、外國ニハ、サウ云フ例ハ無イト云フコ

トノ御答辯ノ要點デアッタト思ヒマス、ソレデーツノ會社ニ法人トシテ選舉權被選舉權ヲ認メテ、ソレガ取締役デアレバ又二重ノ選舉權被選舉權ヲ認メルト云フコトハ理論上宜クナイト云フコトニ御立脚ニナサタノデアラウト思ヒマスガ、是ハ少シク私ハ純理ニ走り過ぎ實質ニ遠ザカッテ居ルモノデハナイカト思フノデアリマス、此議論カラ申セバ、議論ト云フモノハドウニデモ出来ルノデアリマスガ、現在ノ商業會議所ノ機能ヲ能ク見マスル所ニ依リマスレバ、隨分、此法人ノ人頭割ノ爲ニ有ナル議員ガ選任ニナッテ居ル、是ガ會議所ノ爲ニ奔走シ、又會議所ノ機能ヲ發揮スル爲ニ盡力シテ居ルト云フコトハ、政府ニ於テモ是ハ御認メニナッテ居ルノダラウト思ヒマス、殊ニ東京アタリノ會議所ハ五十人中二人人頭割カラ出テ居ル所ノ選出議員ハ二十何人アルト云フコトヲ聞クノデアリマス、斯ノ如ク既ニ現在ノ會議所ニ於テ之ヲ重要視シマスル、又是ガ會議所ノ機能ヲ發揮スル上ニ於テ重要ナル所ノ構成分子ニナッテ居ルト云フコトデアツテ、而モ私ガ過般本會議所申上デマシタ通り、此會社ノ取締役ト云ヘバ先ヅ知識階級デアリマス、相當ノ經驗ナリ學歷ト云フモノヲ備ヘテ居ルノデアリマス、又一方ニ於テソレナラ會議所ノ經費ヲ賦課スルニ付テハドウカト云ヘバ、之ニ付テモ私ハ擔稅力ハ十分アルト思フノデアリマス、何等斯ウ云フ點ヲ考ヘレバ斯ノ如キ人頭割ヲ以テ選舉權被選舉權ヲ有スル所ノ議員ヲ削除スル必要ハ私ハ無イ、餘リ是ハ政府ハ純理ニ走り過ぎラレテ斯ノ如キモノヲ削除セラレタモノデハナイカ、斯ウ思ヒマスガ、之ニ對シマスル所ノ政府ノ御所見ヲ承リタイ

○政府委員(野村嘉六君) 純理論ニ走り過

ギハセヌカト云フ御意見モアツタノデアリ
マスガ、成程、前回申上デマシタ時ニハ稍
稍、純理論ヲ申上デタノデアリマスガ、是ハ
實際問題トシテドウデアリマセウカ、會社
ノ重役ト云フヤウナ人ハ其會社ダケニ依
テ地位トカ財産ヲ得テ居ルモノデナクシテ
重役ニナルニハ既ニ其人個人ノ技術、又ソ
レニ伴フ資産ト云フモノハ大多數ノ人ハ私
ハ持テ居ルモノデアアル、斯ウ思フノデア
リマス、サウシテ會社ノ重役ニナルヤウナ
人ハ其個人ニ於テ既ニ選舉權並ニ被選舉權
ヲ有シテ居ルモノデアアル、ソレガ私ハ多
イ、斯ウ思フノデアリマス、ソレデアリマ
スカラシテ是ハ實際論トシテ申上デマス
ガ、實際ニ於キマシテ或ハ茲ニ例ヲ申シ
マシタナラバ、一ツノ「ビール」會社ガ
アル、其「ビール」會社ニ於テ重役ニナ
テ居ルカラシテ選舉權ガアル、其重役ニヤ
テ居ル報酬ハ全財産デアツテ、サウシテ得
タ財産ニ、收益稅ヲ課セラレテ、サウシテ
資格ヲ得テ居ル、斯ウ云フ風ナ事實ヨリハ、
寧ろ其人ガ、其人個人トシテ、實業家トシ
テ相當ナ資産ガアツテ、サウシテ此選舉權
ヲ有シ、ソレダケノ收益稅ヲ納メテ居ル、
納メテ居ル人ガ偶、「ビール」會社ノ重役ニ
ナツテ居ル、斯ウ云フヤウナ場合ガ多イダ
ラウト思ヒマス、サウスルト此人ガ既ニ個
人トシテモ相當ノ收益稅ヲ納メテ居ルモノ
ナリト認メマス以上ハ、若シモドウシテモ
出タケレバ其方面カラ選舉權、被選舉權共
ニ得ルノデアリマスルカラ、出テモ宜シイ
ノデアリマス、單ニ會社ノ重役ヨリ他ニ收
益稅ヲ納メル途ハナイト云フ人達ハ、或ハ
御説ノ通り純理論デ行クト云フト缺格者ト
ナルデアラウガ、サウ云フ人ハ極ク僅カデ
アラウト思フ、或程、統計カラ見マスルト
云フト、二十人カラノ重役ガ出テ居リマス

ルガ、併ナガラ一面カラ見タラ、アノ二十
人ノ個人ノ資産ヲ見、又個人ノ資産ニ對ス
ル收益稅ヲ見マシテモ、私ハ相當ニ有リハ
セヌカ、全部トハ申シマセヌガ、其處マデ
ハ調べマセヌガ、有リハシナイカト斯ウ考
ヘマスカラシテ、實際ニ於テハ別ニ有爲ナ
人ヲ省クト云フヤウナコトハナイト思フ、
斯ウ云フ考ヲ持テ居リマス

○政府委員(吉野信次君) 只今ノ御質問ハ
非常ニ重大ナル事項デゴザイマシテ、何デ
ゴザイマスケレドモ、私カラモ、立法スル
ニ當リマシテ考慮イタシマシタコトヲ率直
ニ申上デタ方ガ却テ御參考ニナラウカト思
ヒマスカラ、事柄ガ重大デゴザイマスカラ
一言附加ヘテ置キタイト思ヒマス、實ハ此
理論上ノ法人ト云フモノニ、法人其者ト其
代表者ト二重ニ與ヘル、與ヘナイノ純理ノ
問題ハ暫ク別ト致シマシテ、實際問題ト致
シマシテ、私共局ニ當ル者ガ能ク其商業會
議所ト云フモノニ對スル世間ノ非難……ト
云ウテハ言葉ガ強過ギルガモ知レマセヌ
ガ、希望ト云フヤウナモノデ言ハレマスコ
トハ、現在、商業會議所ナルモノハ其地方
ニ於ケル商工業者ト云フ者ノ本當ノ階級ヲ
代表シナイ憾ガアルノデハナイカ、詰リ所
謂其勢力ガ資本家……ト云フト言葉ハ何デ
スカ、御金持ノ勢力家ガ多數ヲ占メテ御居
デニナル、其勢力者ハ色々關係會社ニ御關
係ヲ持テ居リマスカラシテ、其關係會社
ノ種別ハ餘程遠シテ居ルカモ知レマセヌガ、
サウ云フ關係會社ノ代表者トシテ商業會議
所ニ御列席ニナルトキハ、サウ云フ御關係
ノ方ノ間ニ甲乙ハナインデアリマシテ、矢
張り等シク會社ノ方ノ重役ノ方ニガ商業會
議所ト云フモノノ方ニ於テ重キヲナシテ
居ツテ、其地方ノ本當ニ商業工業ト云フモ
ノヲ現實ニヤツテ居ル人ヲ代表スル點ニ於

テ缺クル所ガアルノデハナイカト云フヤウ
ナコトヲ屢、間クノデアリマス、ソレデ此
法案ヲ立テマス時ニ、實ハサウ云フヤウナ
財産上ノ點ヲ全ク無視イタシマシテ、其地
方ニ於ケル現實ニ商業工業ヲヤツテ居ル商
工業ノ第一線ニ立ツ人ダケノ代表者ヲ以
テ、商會議所ヲ構成シタラドウカト云フ
意見モアリマシタ、ソレデハ餘リニ急激ニ
過ギル、元々普選ナリ何ナリト云フ議論モ
アリマスケレドモ、商業會議所ト云フモノ
ハ、元々資本的ノ團體ナノデアリマス、矢
張り財産上ノ點ヲ全ク無視スル譯ニハイカ
ヌノデ、商工業者ハ今日資本主義デ以テ營
ンデ居ル以上ハ資本的ノ團體デアリマスカ
ラ、サウ云フ點ヲ全ク無視シテシマツテ
考ヘルト云フコトモドウデアラウカ、左
様ナ點ヲ色々考究致シマシタ、ソレデ
議員總數ノ五分ノ一ト云フモノヲ、實ハ業
種別ノ觀念ト云フモノヲ其處ニ加ヘマシタ
ノデアリマス、全體ノ五分ノ四ハ矢張り從
來ノ通りヤツテ居テ、五分ノ一ダケヲ業種
別ト云フコトノ觀念ヲ加ヘマシテ、成ルベ
ク之ニ依テ其地方地方ニ於ケル所ノ重要
ナル商工業ト云フモノニ現實ニ携テ居ル
人ガ、此商會議所ノ方ニ反映シテ來ル、
從テ政府ガ之ニ對シテ必要ノ事項ヲ諮問シ
タリ、或ハ其意見ヲ聽クト云フ場合ニハ、
確ニ切實ニ其地方地方ノ商工業者ノ聲ガ届
クヤウニト云フ、斯ウ云フヤウナ考デ變ヘ
マシタノデアリマス、實際ノ實例ハ只今御
話シノ通り、或ハ東京トカ名古屋トカ何トカ
云フ所デハ五十名ノ定員ニ對シマシテ、東京
ハ二十四人、名古屋ハ二十三人ト云フモノガ
人頭割ノ議員デアリマス、神戸モ五十人ノ
定員ニ對シテ十五人ガ人頭割ノ議員デアリ
マス、長崎ハ矢張り四十人ノ定員ニ對シテ
十七人ト云フモノハ人頭割ノ議員デアリ

マス、サウ致シマスルト云フト、會議所ノ
定員ガ五十人デアアル、四十人ト申シマスケ
レドモ、其半數ガ既ニ會社ノ重役デアアル人
ノ議員ガ占メテ居リマスカラ、本當ニ其地
方ノ商工業ヲ代表スルト云フ議員ハ事實上
半分デアリマス、今日ソレカラ又選舉ノ點
ニ付キマシテモ、或ハ全員連記ガ如何ト
カ、ソレカラ階級選舉、是ハモウ現在ノ商
業會議所法ニ用キテ居リマスルガ、是等ノ
點ニ付テモ、モウ少シ平等ニ行クヤウナ觀
念ヲ取ツタラドウカト云フ希望ガ可ナリ切
實ナモノガ實ハアルノデアリマス、ソレ等
ノ點モ今度ノ立法ヲスルニ付キマシテハ考
ヘマシテ、サリト云フテ本體ガ資本的ノ團
體ナモノデアリマスルカラ、全クソレヲ無視
スル譯ニ行キマセヌカラ、御覽ノ通り此法
律ニ於キマシテハ矢張り階級別ノ選舉ヲ認
メテ居リ、ソレカラ連記投票モ認メテ居リ
マス、ソコヲ幾ラカ制限シマシテ、現在ノヤ
ウニ無制限ノ連記デハナクシテ、現在ハ三級
ニナツテ居リマスノヲ二級ニ制限スル、斯
ウ云フ風ニ稍、時代ノ進運ト申シマスル
カ、サウ云フ方面ノ意思ヲ參酌イタシマシ
テ、改正ヲ加ヘタ積リデゴザイマス、其精
神ト、人頭割リノ議員ヲ廢シマシタ精神ト
ハ全ク同一デアリマシテ、既ニ今日選舉ナン
ト云フヤウナコトモ、資格ノアル人ノ方ニ半
等ニ成ルベク行ツタ方ガ宜イデヤナイカト
云フ一ツノ時代ノ精神ガアリ、又現實ノ狀
態ガ、或場所ニ於テハ總體ノ數ノ半分モ、
サウ云フヤウナ會社ノ重役ノ方ニガ占メテ
居ルト云フヤウナコトデハドウデアラウカ
ト斯ウ考ヘタモノデゴザイマスカラ、此際
ニソレヲヤメタノデアリマス、サウ致シマ
スルト云フト、隨分經費ヤ何カノ點ニ於テ
モ實ハ困ルノデアリマス、餘リ露骨ニナリ
マスルケレドモ、東京ノマア假ニ經費ノ點

テ缺クル所ガアルノデハナイカト云フヤウ
ナコトヲ屢、間クノデアリマス、ソレデ此
法案ヲ立テマス時ニ、實ハサウ云フヤウナ
財産上ノ點ヲ全ク無視イタシマシテ、其地
方ニ於ケル現實ニ商業工業ヲヤツテ居ル商
工業ノ第一線ニ立ツ人ダケノ代表者ヲ以
テ、商會議所ヲ構成シタラドウカト云フ
意見モアリマシタ、ソレデハ餘リニ急激ニ
過ギル、元々普選ナリ何ナリト云フ議論モ
アリマスケレドモ、商業會議所ト云フモノ
ハ、元々資本的ノ團體ナノデアリマス、矢
張り財産上ノ點ヲ全ク無視スル譯ニハイカ
ヌノデ、商工業者ハ今日資本主義デ以テ營
ンデ居ル以上ハ資本的ノ團體デアリマスカ
ラ、サウ云フ點ヲ全ク無視シテシマツテ
考ヘルト云フコトモドウデアラウカ、左
様ナ點ヲ色々考究致シマシタ、ソレデ
議員總數ノ五分ノ一ト云フモノヲ、實ハ業
種別ノ觀念ト云フモノヲ其處ニ加ヘマシタ
ノデアリマス、全體ノ五分ノ四ハ矢張り從
來ノ通りヤツテ居テ、五分ノ一ダケヲ業種
別ト云フコトノ觀念ヲ加ヘマシテ、成ルベ
ク之ニ依テ其地方地方ニ於ケル所ノ重要
ナル商工業ト云フモノニ現實ニ携テ居ル
人ガ、此商會議所ノ方ニ反映シテ來ル、
從テ政府ガ之ニ對シテ必要ノ事項ヲ諮問シ
タリ、或ハ其意見ヲ聽クト云フ場合ニハ、
確ニ切實ニ其地方地方ノ商工業者ノ聲ガ届
クヤウニト云フ、斯ウ云フヤウナ考デ變ヘ
マシタノデアリマス、實際ノ實例ハ只今御
話シノ通り、或ハ東京トカ名古屋トカ何トカ
云フ所デハ五十名ノ定員ニ對シマシテ、東京
ハ二十四人、名古屋ハ二十三人ト云フモノガ
人頭割ノ議員デアリマス、神戸モ五十人ノ
定員ニ對シテ十五人ガ人頭割ノ議員デアリ
マス、長崎ハ矢張り四十人ノ定員ニ對シテ
十七人ト云フモノハ人頭割ノ議員デアリ

ヲ申上ダマスルト、大正十四年度ノ數字デ
ゴザイマスガ、營業稅割リテ取リマスル經
費ハ九萬圓ナニガシト云フ數字デゴザイマ
ス、九萬圓ナニガシト云フ數字ニ對シテ人
頭割テ出シマスル經費ガ三萬幾ラデアルト
云フ割合ニナリマス、多數ノ有權者ノ方カ
ラ取ルノハ九萬圓デアッテ、此會社ノ重役
ノ方デ所得稅ヲ以テ人頭割ヲ掛ケテ居ル者
ハ三萬圓カナッテ居リマスカラ、其三萬
圓ト云フモノヲ今度失ハナケレバナラス、
詰リサウ云フモノヲ選舉權者カラ取リマ
ス、ソレデゴザイマスカラ東京ハ一例デゴ
ザイマスガ、大阪ニ於キマシテモ略、同様
ナ人頭割ト云フコトデ三萬圓チヨット越シ
タ經費ヲ取テ居ルノデアリマスカラ、會議
所ト致シマシテハ、可ナリ重大ナコトデヤ
ナイカト云フ點モ實ハ考ヘマシタ、考ヘマ
シタノデゴザイマススケレドモ、如何ニモ其
地方地方ノ商業者ト云フモノヲ直接ニ反映
セシムルト云フ點ニ付テ根本的ニ一歩手ヲ
染メヤウト云フ改正ノ方針カラ考ヘマス
ルト云フト、甚ダ其精神ニ戻ルヤウナ嫌
ガ大ナルモノガアルモノデゴザイマス
カラ、此際ニ思ヒ切りマシテ、人頭割ノ點
ヲ實ハ無クシマシタ、サウシテ其經費ノ點
ニ付テハ足リナイ所ハモット選舉權者ノ資
格ノ納稅率ノ制限ヲ幾ラカ低メル積リデゴ
ザイマシテ、有權者ノ數ヲ現在ヨリハ多ク
致シマシテ、サウシテ旁、足ラナイ部分ノ
點ハ其方ニ於テ補ヒテ付ケルト云フ斯ウ云
フ大體ノ積リデゴザイマス、ソレデゴサイ
マスカラ、此點ハ矢張り今度ノ改正ノ根本
的ノ精神ノ一ツノ眼目ト私共考ヘテ居ル點
デゴザイマスカラ、立法ノ當時ノ實情ヲ露
骨ニ御參考マデニ申上ゲテ置キタイと思
ヒマス

ノ大變能ク了解イタシマシタガ、先刻政
府委員ノ御言葉デハ會社ノ取締役ト云フモ
ノハ相當ノ資産アリ地位モアルモノダ、故
ニ會社ノ取締役ト云フコトノ爲ニ選舉權、
被選舉權ガ無クナッテモ、他ノ商行爲ヲシ
テ居ル爲ニ其權利ハアルダラウ、斯ウ云フ
御言葉モアツタヤウデアリマスガ、ソレハ少
シク御調査ガ十分デナイト思フノデアリマ
ス、稅法又其他ノ關係ニ於キマシテ、大都
市ニ於キマスル所ノ個人商店カ段々法人ニ
變ジテ來ルノデアリマス、ソレハ營業收益
稅其他ノコトガ十分稅務當局ト個人トノ間
ニ爭ガアル、個人ノ帳簿ト云フモノハ稅務
當局ニ於テナカク信用シテ貰ヘナイト云
フ點ノ立場ト矢張り小資本ヨリ大資本ヲ以
テヤルト云フコトガ、商業ノ上ニ於テ必
要ナル條件ト云フコトニナッテ參リマシタ爲
ニ、個人商店カ段々法人ニ移ッテ居ルノデアリ
マス、デアリマスカラ、或ル會社ノ重役ト云フ
人ハ、個人トシテハ商行爲ヲシテ居ラヌ人
ガ少クナイノデアリマス、多數ノ會社ノ取
締役ハシテ居テモ個人トシテハ何等營業
ヲシテ居ラヌ、商行爲ヲシテ居ラヌ、故ニ
此營業收益稅ヲ收メテ居ラヌ人ガアル、ノ
ミナリマセズ、個人カラ法人ニ移ッテ行ク
ヤウナ現狀デアリマスカラ、此取締ト云フ
モノヲ削除スレバ選舉權、被選舉權ヲ無ク
スル人ガ私ハ隨分多カラウト思フノデアリ
マス、故ニ是ニ付テ全然此選舉權ヲ削除ス
ルト云フコトハ、餘程ハ重大ナル問題デ
アルト思ヒマスルコトガ一ツ、ソレカラ第
二ニ、唯今法人ノ取締役ノ議員ガ多イト云フ
コトノ御説明ガアリマシタガ、是モ約七十
五會議所ガアリマスルガ、其中ノ五六ニ過
ギヌノデアリマス、大局カラ見マスレバ、
矢張り營業收益稅ヲ根據トシテ出テ居ル議
員ガ多イトデアリマスカラ、其處ノ僅ナ箇

所ノ者ガ……法人ノ取締役ガ出テ出ルカラ
ト云ウテ、直グニ之ヲ改正セヌケレバナラ
ヌ必要ガ私ハ何處ニアルカト云フコトノ理
窟ヲ言ヒタクナルノデアリマス、サウ云
フ點カラ見マシテ、此人頭割ヲ削除スルト
云フコトハ、私ハ現在ノ會議所トシテハ非
常ニ重大ナ問題デハナイカト思ヒマス、モ
ウ一ツ、從來ノ此人頭割ノ賦課ト云フコト
ハ甚ダ不公平デアル、何故不公平デアルカ
ト申シマスルト、此方ノ東京ノ一人ノ實業
家ガ大阪ノ會社ノ一ツノ取締役ヲシテ居ル
爲ニ、其人ノ綜合所得ノ全收入ニ對シテ、
大阪會議所ト云フモノハ人頭稅ヲ課シテ居
ルト云フヤウナ現狀デアル、非常ニサウ云
フ人ハ此經費ノ賦課ニ付テ不滿ヲ懷イテ居
ル、自分ハ大阪ニ住居シテ居ラヌ、然ルニ
會議所ノ經費ヲ賦課シテ來ルト云フコトハ
怪シカラヌト云フコトデアリマスガ、是ハ
現行法規ノ不備ナ所デ、大阪デ取締役ヲシ
テ居レバ必ズ其會議所ノ賦課ヲ受ケナケ
レバナラヌ義務ヲ持ッテ居ルノデアリマス、
現行ノ人頭割ノ賦課ニ付キマシテハ、政府
ニ於テ假令之ヲ認メテ貰フニシテモ大イニ
改正ヲ要スル點ガアリマスガ、ドウシテモ
會社ノ取締役ヲ全然除外スルト云フコト
ハ、會議所ノ經費ヲ賦課シテ行ク、存立ノ
上ニ於テ餘程考ヘンケレバナラヌト思ッテ
居リマス、併シ先刻ノ政府ノ御説明ハ、是
ハ改正ノ骨子トナッテ居ルト云フコトデア
リマスガ、私ハ現下ノ實情ニ照シテ、モウ
暫ク此人頭割ノ選舉權、被選舉權ヲ認メルト
云フコトニ政府ニ於テドウシテモ御意思ガ
ナイモノカ、甚ダ諄イヤウデスケレドモ御
伺ヒシタイ

重役ガ、重役トシテ資格ガアルガ、個人ト
シテハ多クハ營業シテ居ラヌ、ソレデア
ラシテ營業收益稅ト云フモノヲ納メテ居
ラヌ、又現在ノ趨勢ハ、小營業ヨリハ綜合
的ノ大營業ニ移ッテ居ルノデアルカラシテ
益、今日ノ重役ノ個人ノ營業收益稅ハ減ッ
テ行ク、斯ウ云フ御意見デアリマシタ、森サ
ンノ御意見通りデアルト思ヒマス、其點
ハ……矢張りドウシテモ個人トシテ營業ス
ル人ハ少クテ、集團のニナッテ行クト云フ
趨勢ハ是ハ今日ノ狀態デ、サウ云フ勢デア
ルノデアリマス、サウシテ此會社ノ重役ト
シテノ營業收益稅ヲ納メル以外ニ、個人ト
シテ納メテ居ル場合ガ少イ、斯ウ云フ御意
見デアリマシタガ、是ハ實際調査シナケレ
バナラヌノデアリマシテ、個人個人ニ、現
在役員ニナッテ居ル人ノ個人個人ニ付テ調
ベテ見ルヨリ外途ガナイノデアリマス、其
數ガ多イカ、少イカト云フコトハ調査シタ
上デ御答ヘスルコトニ致シマス、而シテ餘
リ多數デナイト云フコトモソレモ事實ダラ
ウト思フ、併ナガラ多數デナイニシマシタ
所デ、兎ニ角其方面デモ資格ガアルノデア
リマスカラ絕對ニナイ譯デモナイ、個人的
ニ營業シテ居ル人ハ其點デモ詰リ資格ヲ得
ルコトガ出來ルノデアリマスカラシテ、
私ハ差支ナイダラウト思ヒマス、若シ數ノ
比較ニ至リマシテハ調査シタ上デ申上ダマ
ス、ソレカラ此條文ガ、他ノ政府委員カラ
申シマシタガ、又立案ノ當時ノ狀態ヲ率直
ニアリノ儘ニ申上ゲタ、實ハアノ通りデ
ス、ソレデ本法ニ於ケル改正ノ重要ナル部
分デアルト云フコトモ其通りデアリマス、
ソレデアリマスカラシテ、此點ニ對シマシ
テハ當局ト致シマシテハ此案ヲ此儘デ通シ
テ戴キタイ、此人頭稅廢止ノ點ニ對シテハ
此儘デ通シテ戴キタイ、斯ウ云フ考ヲ有

テ居ルノデアリマス、ソレカラ是ハ吉野政府委員カラモ言ヒマシタガ、サウスレバ税金ガ非常ニ減ル、ソレデドウシテ商工會議所ノ維持ガ出來ルカト云フ懸念モアルデアリマセウガ、ソレハ兎モ角今度ハ選舉權ヲ擴張イタシマシテ、サウシテ今日ヨリハ多數ノ有權者ヲ拵ヘルノデアリマスルカラシテ、從テ賦課スベキ費用モ澤山取レルコトニナル、ソレヲ以テ大體補フ考デ居ルノデアリマス、又時勢ニ應ジテ多數ノ商工業者ノ意思ヲ尊重シテ、商工會議所ノ機能ヲ發達セシメルト云フノハ、ソレガ私ハ當然ガラウト思ヒマス、所謂資本金ノ方ニモ偏シテモイカズ、ト言フテ、又小商工業者ノ方ニ偏シテモイカズ、兎モ角、中庸ヲ取ッテサウシテ商工業ノ發達ヲ期スルノガ當然デアル、今日ノ程度ニ於キマシテハ、是ハ今他ノ政府委員カラ申シマシタ通りニ稍、言葉ハドウダカ知レマセヌガ、資本金ノ方ニ偏シテ居リハセヌカト云フ懸念モアル、其上ニ純理論カラ申シマス、ト云フトドウモ當ヲ得ナイト云フ懸念モアッタノデアリマスカラシテ、今度選舉權ヲ廣クシテ、同時ニ大多數ノ商工業者ノ意見ヲ容レテ機能ヲ發揮セシメタイ、斯ウ云フ考カラ出テ居リマス、申シマス、ト是ハ矢張り根本原則ノ改正ニ對スル一ツニナルガラウト思フノデアリマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 本日ハ是デ散會イタシマス、引續イテ懇談會ノ姿デ暫ラク御話ヲ……

午前十一時五十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵會我 祐邦君
委員

伯爵松平 賴壽君
男爵伊藤 文吉君

政府委員

商工參與官 野村 嘉六君
商工書記官 吉野 信次君

內藤 久寛君
田村 新吉君
森 平兵衛君
松本勝太郎君

昭和二年三月九日印刷

昭和二年三月九日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局